



む人が再び集まっています。

山々々に囲まれた田野畑村の明戸地区は太平洋に臨む谷地の集落。クロマツの保安林が広がる明戸浜は、海流の関係で海水浴には適していませんが、キャンプ場やマレットゴルフ場があり、震災前には多くの人々がレジャーに訪れていました。

震災時には推定17mの第1波が防潮堤を乗り越え、引き波で堤体が破損し、クロマツ林やスポーツ施設も津波にのみ込まれ、沖合にあった8tの消波ブロックは砂浜に打ち上げられました。この時破壊された防潮堤の一部が、被災当時のままこの場所に保存されています。波打ったコンクリートが重なり合い、露呈した内部が津波の破壊力をまざまざと見せつけています。

復旧した明戸海岸防潮堤は平成29年(2017)に完成し、遺構の周辺はあずまやなどのある公園に生まれ変わりました。周辺のスポーツ施設も再建され、砂浜で遊ぶ人やスポーツを楽しむ

田野畑村の明戸海岸は東日本大震災前、広大な砂浜とクロマツの保安林が広がり、夏にはハマナスが咲き誇っていた。太平洋に注ぐ明戸川や松林は子どもたちの絶好の遊び場だった



津波によって決壊した防潮堤が、被災当時の姿のままに保存されている。見学路のほか、被災前後や決壊の瞬間の写真を使った解説板も整備され、津波の破壊力や震災当時の惨状を学ぶことができる



震災遺構や周辺の被災エリアではガイドプログラム「大津波語り部」も。体験村・たのはたネットワークで受付(☎0194-37-1211、所要1時間、👤1人2500円※1人のみの場合は5000円、人数により異なる、要予約)

●たのはたむら

田野畑村

震災遺構 明戸海岸防潮堤

●たのはたむら

被災した防潮堤が津波の破壊力を今に伝える



最大震度 4
浸水面積 1km²
最大浸水深 28.33m



全壊 225棟
半壊 45棟
一部損壊 11棟



死者 17人
行方不明者 15人
負傷者 8人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

考えてみよう

Q1 巨大なコンクリート片が重なり合い、津波の威力の大きさを物語っていますが、震災前の防潮堤はどのくらいの規模だったのでしょうか？

Q2 平成29年(2017)に完成した明戸地区の新しい防潮堤は、以前より海から離れた場所に建設されましたが、こちらはどのくらいの規模でしょうか？

震災遺構

語り部あり

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●しんさいいこう あけとかいがんぼうちうてい

震災遺構 明戸海岸防潮堤

☎0194-33-3248(田野畑村総合観光案内所) MAP P.112E2

📍田野畑村明戸海岸

🚗三陸沿岸道路田野畑中央ICから車で8分

👤👤👤見学自由

🅇あり(大型バス:あり)